



議会だより



集落の安全と五穀豊穰を願
いさいの神の行事が行われた

- 会議報告 2 ページ
- 一般質問 4名登壇 4 ページ
- 議員活動報告 6 ページ
- 議会モニターアンケート対応 7 ページ
- 村民の声 津野みつ子さん 8 ページ



会議報告

臨時会議と12月定例会議の内容を抜粋して報告いたします。

臨時会議

11月5日開催

◆報告1件・議案4件について審議

■一般会計補正予算(第7号) 1930万円追加

○衆議院議員総選挙費 930万円

○現年発生災害復旧事業費 1000万円

◇9月の豪雨災害で被災した施設、中東の荒瀬頭首工からの用水管

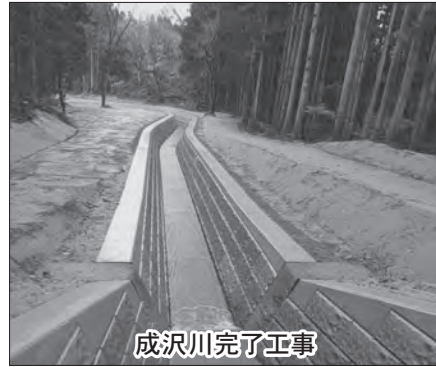
■成沢川河川災害復旧工事 変更請負契約の終結

・変更前の請負金額 2億1762万円

・変更後の請負金額 2億1021万円

・変更請負契約による減額 741万円

・契約者 (株)丸徳建設



成沢川完了工事

■一般会計補正予算(第8号) 310万円追加

○財務会計システム改修委託料 20万円

○村商工会補助金 30万円

◇年末大売り出しへの補助

○桂の関温泉ゆくむ管理費 260万円

◇ろ過機電動三方弁取替工事(男子泡風呂・女子大浴場のろ過機)

定例会議

12月12日開催

◆議案14件、同意3件、諮問1件、陳情2件について審議

■一般会計補正予算(第9号) 1億8970万円追加

○脱炭素推進事業費 30万円

◇自営線マイクログリッド設置の土地購入費(村民会館裏の私有地33・16平米)

○農業農村整備事業費 3000万円

◇鮎谷の溜池の測量調査、事業計画策定委託料と天神平上堤廃止工事増工分

○道路橋りよう維持費 1000万円

◇除雪車3台分のタイヤと除雪による道路橋梁修繕分

鈴木紀夫

早めの交換は出来なかったのか。

建設課長

昨年度も点検していたが、

再点検で交換の必要性を確認したためです。



除雪車

○現年発生災害復旧事業費 6000万円

◇中東地内農業用水路災害復旧工事分

○通年発生災害復旧事業費(林道) 1100万円

◇林道新関沢線災害復旧工事増工分

○児童手当給付事業費 2700万円

川崎哲也

どのような制度か。

健康福祉課長

国の制度であり、児童を養育している方へ支給されますが、令和6年10月から高校生年代まで拡大。また所得制限も撤廃されました。

■一般会計補正予算(第10号) 10万円追加

○一般管理費(賠償金) 10万円

◇村民会館敷地内で発生した村スクールバスによる物損事故の損害賠償

加藤和泰

ドライバーの方達に対する指導は。

政策監

自動車学校にて講習を受講しています。次年度も実施し指導いたします。

■陳情第8号

○年金積立金を活用して安心して生活できる公的年金を求める陳情

■陳情第9号

○「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働は正に係る意見書の採択を求める陳情

※陳情第8号および9号は、閔川村議会より、国に意見書を提出します。

議 員 表 決 結 果 報 告

区分	件 名	小澤 仁	加藤つや子	川崎 哲也	近 敬志	近 壽太郎	加藤 和泰	高橋 正之	菅原 修	平田 広	鈴木 紀夫	結果	
臨 時	議案	関川村国民健康保険条例の一部を改正する条例	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
	議案	関川村老人医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
	議案	成沢川河川災害復旧工事変更請負契約の終結について	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
	議案	令和6年度関川村一般会計補正予算（第8号）	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
12 月 定 例	議案	関川村農地及び農業用施設災害復旧事業の分担金徴収条例の制定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	関川村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	関川村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	関川村特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	関川村一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	関川村技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	関川村国民健康保険診療所勤務医師の給与に関する条例の一部を改正する条例	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	関川村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	新潟県市町村総合事務組合の規約の変更について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	令和6年度関川村一般会計補正予算（第9号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	令和6年度関川村国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	令和6年度関川村簡易水道事業会計補正予算（第1号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	同意	関川村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	同意	関川村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	同意	関川村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	諮問	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
	議案	損害賠償の額を定め和解することについて	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	令和6年度関川村一般会計補正予算（第10号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	陳情	年金積立金を活用して安心して生活できる公的年金を求める陳情	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
	陳情	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正に係る意見書の採択を求める陳情	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
発委案	年金積立金を活用して安心して生活できる公的年金を求める意見書の提出について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
発委案	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正に係る意見書の提出について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

○ 賛成 × 反対 — 議案が議員本人に関する場合や議長は採決に参加できません。

上下水道料金値上げ 住民へ充分な説明を

村長 ご理解いただけるよう丁寧に説明



かとうかずひろ 加藤和泰 議員

問 閔川村水道事業検討委員会での協議はどのように進めてきたのか。

村長 総合振興審議会委員の中から各地区1名ずつを住民代表としてお願いし、計8回委員会で審議をお願いした。

簡易水道事業と下水道事業の経営状況を説明し、料金改定を含めた今後の両事業の在り方について意見交換を行いながら検討をしていただいた。

問 委員会として今回の答申に至った経緯は。

村長 ①人口減少と節水意識の高まり等により、収入が減少傾向にあること

②老朽化した施設の適時適切な更新が必要なこと

③現在の料金水準を維持し続けた場合、収入減少に歯止めがかからず、一般会計からの補助金に頼る経営となり、施設更新の費用が捻出できなくなる恐れがあること、以上の3点が主な経緯です。

問 上下水道の料金改定となると村民の生活に大きな影響を与えるが、どのように説明し理解をいただくか。

村長 広報やホームページなどを通じて料金改定について周知を行い、必要性をお伝えしながら村民の皆様からご理解をいただくよう努めていく。



復旧が完了した温泉橋水管橋

手話言語条例制定の進捗は

村長 手話言語に加えコミュニケーション条例検討



かとうつやこ 加藤つや子 議員

問 一昨年12月定例会で質問した「手話言語条例制定」に向けた研究の結果を伺う。

村長 県内では14市町が手話言語条例を、2市がコミュニケーション条例を制定済み。村では、手話言語に加え、広く視覚障がいを含めた、コミュニケーション条例制定に向けた検討を進める。

問 理念制定を希望し、手話を一生懸命学ぶ村民への対応は。

村長 手話を学び、村内に活躍の場が広がることは誰もが安心して生活できる「共生社会の実現」において、大変重要と考えているため、手話奉仕員養成講座の充実など講

座の委託先である社会福祉協議会と調整を図っていききたい。

問 現在、発達障がいを持つ子どもも増加傾向であるが、学校教育において手話をはじめ障がい特性に応じたコミュニケーション手段を教える取組や指導者養成の取組が十分ではないか。

健康福祉課長 手話奉仕員養成講座では上級の講習会を。また、他市町村での講座や研修会参加時の支援を社会福祉協議会と調整。その上で保育園で行っている手話指導を小中学校や村民にも普及できると、差別や偏見の解消にも繋がると考えます。



保育園での出前授業

GIGAスクール構想進捗は

教育長 教育のデジタル化が進み適切に運用されている



かわさきてつや
川崎哲也 議員

問 教育のデジタル化の効果は。

教育長 児童生徒の学力の向上や、学校での意見交換・情報共有がしやすくなった等の報告、および調査結果が出ている。

問 健康被害や学習能力への負の影響など、教育デジタル化の問題点は。

教育長 調査は行っていないが、視力・姿勢などの健康面への影響、機器や情報の取り扱い方については指導を行っている。

問 構想について、教員や生徒、保護者など関係者の意見把握や情報交換は行っているか。

教育長 令和7年度からの構想第2期に向け、関

係者への構想の目的周知と理解の機会を持ちたいと考えている。

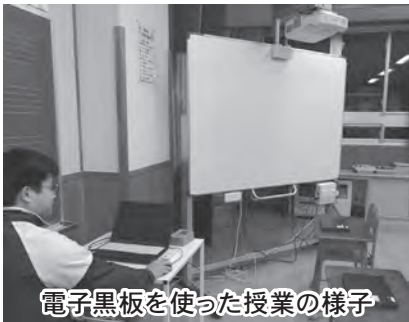
問 デジタル教育と村の自然を掛け合わせた村独自の教育の可能性は。

教育長 机上の学びだけでなく、村の豊富な自然や文化資源を活かし、体験を通じた学びも大切だと考えている。

観光地域計画

問 村の観光地域計画の活用状況は。

村長 同計画をベースに、現在、観光振興計画としてまとめている。振興計画策定後は、計画に沿って事業展開を行っている。



電子黒板を使った授業の様子

総合防災訓練での課題と対策

村長 避難所開設運営の動きを確認



こん たくし
近 敬志 議員

問 総合防災訓練の課題点と今後の対策をどのように進めていくのか。

村長 ①指定避難所の解錠の具体的な仕組みを構築させたい。②各自が必要な物資を防災袋やリュックに入れ携帯して避難するよう周知を図りたい。

③緊急時の連絡体制の確認や避難した後の避難所開設運営など、自主防社会や集落の皆様と実際の動きを確認する訓練を行っていききたい。

問 避難所での感染症対策は。

村長 令和2年度にコロナ禍での訓練を実施した。令和4年8月豪雨災害のときは、体温測定や手指消毒、部屋を分けるなど

対策を講じた。

問 ペット同行避難について運営方法を含め各避難所に拡大する考えはあるか。

村長 訓練実績が少ない状況なので、まずは飼い主にに向けた啓発を行い、訓練の場を広げ、ペット同行避難の訓練を重ねていききたい。

限られた避難所のスペースを避難住民とどうすみ分けするのかなど、短期長期の避難のあり方について課題を整理していく。



避難所 受付の様子

議員活動報告

鷹ノ巣道路現地視察

同道路内の1号トンネル（下川口く大内測延長約800m）掘削現場にて、羽越河川国道事務所長より、トンネル工事の進捗状況を伺いました。

現在180mほど掘削が進んでおり（令和6年10月時点）、軟弱な地盤への対処などの理由で、工事は予定より遅れているとのことでした。工期は令和7年末までです。

鷹ノ巣道路は平成8年に整備区間に指定され、計画の見直しなどを経て現在にいたります。早期の完成が望まれます。



小国町・関川村議会議員交流会

（おぐに総合開発センター）

小国町教育委員会文化振興係の蛸原氏より、小国町の文化財保護活動について説明を受け、同町の歴史民俗資料館「おぐにふるさと文化館・百石」を見学しました。



おぐにふるさと文化館展示室

関川村防災訓練

（村民会館）

訓練内の防災フォーラムにて、講演「豪雨災害で避難を呼び掛けた区長としての私の行動」に出席しました。

村上市小岩内前区長松本氏より、豪雨災害時の様子、同地区での防災の取り組みについて伺いました。災害時の「自助・公助・共助」に加え、日ごろから地域で助け合う「ご近助」が大切であると学びました。

町村議会広報研修会

（自治会館）

演題 「広報広聴の目的と議会報の企画編集」

森をはぐくむ地域づくり講演会

（秋葉区文化会館）

山形県白鷹町の林政課職員より、「緑の循環システム」と題し、同町の「まちづくりの木・森・山を活かす」取組について伺いました。

同町における平成25・26年の豪雨・土砂災害を受け、町では森林の役割・重要性を見直し、森林整備と林業の復興に向けた取り組みが始まったとのことでした。



町村自治に関する研修会

（ホテルイタリア軒）

演題 「激動の世界と日本の対応」

町村議会議員研修会後期

（新潟東映ホテル）

演題 「町村議会の課題と議員のなり手不足」「混迷する世界の読み解き方」トランプ政権の誕生と日本」

議会モニター『アンケート』

開かれた議会を
目指しています

令和6年12月定例会議アンケート (主な意見を抜粋)

1. 議会を傍聴しての感想

- 前回よりも進行速度が速くなって、改善されているのが感じられた。
- 議員個人の質問になっていないか。議会で協議する内容が疑問なところもある。
- 質問の内容に関していずれも興味深いものを取り上げていた。
- 再質問の内容に対する熟考が必要。

回答：質問内容の吟味、答弁に対する深掘りできる質問等、自己研鑽に努めます。

2. 議会に対する要望

- 将来村を守るための質問、提案が物足りないと感じた。
- 傍聴時に添付資料があり、分かりやすかった。
- 傍聴に参加することにも勇気がある。多くの方に傍聴してもらえたら。

回答：議会中継を検討しています。多くの方に議会への関心が深まるよう努めます。

議会だより第137号アンケート (主な意見を抜粋)

1. 写真やレイアウトについて

- 新しくオープンした村内施設の紹介も兼ねていて、村民への周知もできていて良い。
- 写真が記事の理解度を上げる良い材料になった。
- 記事が見やすくなった。余白は大事。
- 気軽に読める媒体と感じさせてくれる。更に興味のある方向けに詳細を記したサイト等があっても良い。

2. 関心を持った記事は？

- 村民の声・・・移住してきた方の声は、客観的に関川村を見つめ直す良いきっかけになる。
- 議会モニターアンケート・・・数ある意見を簡潔にまとめている。
- 一般質問、決算審査特別委員会

3. 議会だよりに取り上げてほしい記事、議会情報は？

- 研修や視察に行った際に感じたこと、学んだことをまとめたレポートを記載してほしい。
- 今後の議会スケジュール

4. その他の意見

- 一般質問の背景や途中の議論も分かりやすくまとめてほしい。
- 横書きバージョンに変更できないか。

回答：QRコードを活用して詳細説明のあるサイトへアクセスできるよう検討します。

村民の声

関川村での半世紀

津野 みつ子 さん
(湯沢)



一、湯沢・高瀬との縁

胎内市から湯沢に嫁いで半世紀以上が経ちました。嫁ぎ先は、高瀬に土産物屋と休憩所を兼ねたお店を経営していたので、高瀬で暮らすこととなり、そして妊娠後、勤めを辞め、その売店のお手伝いをする事になりました。

当時、温泉街はマイクロバスが団体客を乗せ、昼夜何度も往復。どの旅館も全館満室、経営者は寝る暇もなく、頑張っていました。

売店も同じで、仕入れた品物はあつという間に売れる毎日。家業なので、大きくなつたお腹でも出産前夜まで仕事をしていたのですが、それができたのも健康に生んでくれた親

のおかげと感謝しました。

平成に入り、消費税が導入され、税が上がる頃から温泉街もお客さんが減っていききました。売店も今は機能していません。東京の弟に戻らないかと声をかけています。家族もいて、難しいようですが、村のためと思つて何度でもアタックしたいと思えます。

二、夫婦の暮らし

今は湯沢で夫と二人暮らし、二人三脚で細々と稲作をしています。EM菌でボカシ肥料を作り、化学肥料は極力減らし、安全で美味しいコメを全国に発送し、おかげで長い付き合いのお客様、ご家族もたくさんいます。

夫の趣味は有機・無農薬野菜作り。野菜のお裾分けは喜んでもらえるので、夫の生きがいです。スキーも指導員をするほどでしたが、わかぶなスキー場の閉鎖後は、スキーはやめてしまいました。私は、週一回ズンバを楽



しんでいます。高齢者でも楽しく気軽にダンスができるのでお勧めです。健康体操も良いです。自分の体調に合わせて指導員が体操を考えてくれるのです。終わると体が軽くなります。これが私の健康作りです。それと寝る間も惜しいくらい夢中なのが、紙バンドで作るかご編みです。奥が深く色々なやり方があり、これからも新しい結びに楽しみながら挑戦していきます。無我夢中で無心になれる大切な自分の時間なのです。

編集後記

二〇二五年最初の議会だよりです。改めまして、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。昨年は元日の能登半島地震で始まり、各地で自然災害が多発した年でした。そんな折、全国規模でボランティア活動をしている団体の話しを聞く機会がありました。能登でのボランティア活動の様子を伝えながら、ボランティア活動に参加・支援してくださる方達を募る活動をしているとのことでした。

困っている人達に手を差し伸べることの大切さを改めて感じました。

自分にできることを行動していく一年にしたいものです。

(と)

議会広報常任委員会

- 委員長 加藤つや子
- 副委員長 加藤 和泰
- 委員 近 壽太郎
- 委員 鈴木 紀夫
- 委員 近 敬志
- 委員 川崎 哲也